

放送局

TBSラジオ	(TBS)	954kHz	(日) 7:40-7:55
北海道放送	(HBC)	1287kHz	(日) 7:45-8:00
東北放送	(TBC)	1260kHz	(日) 9:05-9:20
新潟放送	(BSN)	1116kHz	(日) 7:00-7:15
中部日本放送	(CBC)	1053kHz	(日) 7:40-7:55
毎日放送	(MBS)	1179kHz	(日) 6:15-6:30
中国放送	(RCC)	1350kHz	(日) 8:40-8:55
山陰放送	(BSS)	900kHz	(日) 7:30-7:45
RKB毎日放送	(RKB)	1278kHz	(日) 7:25-7:40
宮崎放送	(MRT)	936kHz	(日) 7:45-8:00
琉球放送	(RBC)	738kHz	(日) 7:00-7:15

※以上の11局ネットで放送しています。

長寿・子育て・障害者基金では、女優の中村メイコさんと作家の神津カンナさん親子の明るいつークで、高齢者・障害者の在宅福祉や生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防止や健全育成、障害者スポーツなどをテーマにラジオ番組「メイコのいきいきモーニング」をお送りしています。

このコーナーは番組の放送内容からピックアップして誌上で再構成したものです。



TBSラジオ「メイコのいきいきモーニング」収録スタジオのメイコさん(左)とカンナさんです。

再録 **メイコのいきいきモーニング**

「SPSSDによる認知症高齢者の理解」

平成20年5月11日放送(第866回)

特定非営利活動法人アビリティィクラブたすけあい(略称ACT、東京都新宿区)は、1992年、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街づくりを目指して発足し、現在是有志の会員7400名が都内34のたすけあいワーカーズで地域の支えあい活動を行っています。SPSSDとは「認知症の人の模擬演技者」で、SPSSDによる介護講座を各地で開催しています。ユニークな講座の様子を紹介しました。

メイコ 皆が認知症という病気を理解して支えていくような関係ができれば、地域で暮らす認知症の高齢者もこれほど心強いことはないと思うんですが、今日はそんなある取り組みをご紹介します。

カンナ 特定非営利活動法人アビリティィクラブたすけあいでは、広く認知症について理解してもらおうと、平成18年度にWAM基金の助成を受けて、認知症の模擬演技者を利用した講座を開催し、現在も各地で開催しています。詳しいお話を理事長の香丸眞理子さんに伺いました。

香丸 私たちがたすけあいという形でサービスをしているときに、認知症の人との出会いがだんだん増えてきたんです。でも、どうやって対応したらいいかわからず困っていました。専門家の助言を得て、模擬の演技者を通して関わり方を学ぶことはできないかというところで、研修のツールとしてロールプレイを取り入れたんです。体験型の接し方をヘルパーに学んでもらうことにしたんですが、やっているうちに地域の人も、認知症でも普通に暮らせることを理解してもらうことが大切だ

と感じて、このロールプレイを通して地域の人の輪、関わり方、理解を深めるためのプログラムにしたというわけです。

メイコ 認知症の模擬演技者から関わり方を学ぶってどんな風にやるんでしょう。とても興味がありますけれど。

カンナ 去る3月、東京・八王子市で開かれた講習会「認知症でもだいじょうぶ・だいじょうぶ」は、認知症について学びたいという一般の方から、在宅で介護をしているご家族、ケアワーカーさんなど介護のプロも参加して開催されました。まずは認知症という病気について学んだあと、いよいよ模擬演技者とのロールプレイです。模擬演技者のお一人がお嫁さんの美智子さん役になります。一人暮らしのお姑さんを美智子さんが訪ねると、お姑さんは財布が見当たらないと必死に探していま

す。そのうち美智子さんに「あなたが盗ったのね」と言いはじめるという場面設定で、ロールプレイが行われました。この講習会では対応のノウハウを学ぶのではなく、皆で学びあって気づいていくことを大切にしていると、香丸さんはこのようにお話をくださいました。

香丸 自分に置き換えてみれば、どんな接し方であって欲しいか想像できますよね。そうするとそんなに難しい専門的なことではなくて、一人の人間としてどう関わったらいいかということですから、皆でいろんな考えを出し合っていてそこから自分にあつた気づきを見つけたらいいと思います。ハウ・ツーでなく皆で考えて認知症の人が安心できる関わり方を編み出していくというのが必要なことだと思いません。

カンナ この講習会で模擬演技をする方は、たすけあいワークショップで実際に高齢者の自立援助サービスを長年行ってきて、さらにACTが主催する認知症模擬演技者研究会で毎月勉強されている方なんですよ。今回この他に、街で認知症のお年寄りを見かけたらどうする？という設定でのロールプレイも行われたんですが、参加者からの質

問に、他の参加者が経験談を話したり、アイデアを出したりと、とても活発な話し合いが行われていたそうです。皆さんのこの講習会で、どんな感想をもたれたのでしょうか。最初はロールプレイでお嫁さんの美智子さん役を務めた方です。

参加者 実際にアルツハイマーの母がいます。日々悩みつつ本人とやり取りしている中で少しでもヒントが欲しいと思って参加いたしました。実際にその場面になったらこんなに冷静にはできないと思うし、もっとカッパすると思うし、感情的にもなると思うんですが、一度こういう風にしておくと、ちょっと距離を置くといいとか、その場面になった時には心強いかなどというのは感じました。

メイコ そして高齢者や障害者への介護サービスマン提供の責任者を務めるこの



SPSDによる認知症の人の家族を支える研修DVD
「認知症の人の心を感じて」～もし自分が認知症になったら～

方は。

参加者 現場では特に介護保険とか、制度の中でやっていますと、時間の中で終わらせなければいけないというのがまず大前提にありますので、本人がどう思っているんだろうと考えるよりも専門職のいろんなノウハウで、多分いまこう思っているんだろう、でも多分こういうふうになるんだろうという予測のもとでやっていることがとてもあるんですよ。でも模擬演技者の話とか、その時どう思っていたかというのを聞くことで、反省するところもすごくたくさんあって、そういうところに気づけていいなと思いました。

メイコ そうですよ。やはり実際の認知症のお年寄りに、その時々々の気持ちを聞くというわけにはいかないけれど、認知症をきちんと勉強した模擬演技者だからこそ、そこから学べること

が多いですよ。

ACTでは昨年、高校一年生を対象に、この認知症の模擬演技者による授業を行

ったそうで、今後は様々な年代の方に呼びかけて、多くの方に認知症について理解してもらいたいと香丸さんはおっしゃっていました。ACTでは、要望があれば全国どこでも出かけて行って、この講習会を行うそうですので、地域でこうした講習会を催してみたいかがでしょうか。とても大事なことだと思えますね。

SPSDによる認知症を抱える家族の支援事業の概要

ACTは、平成18年度、高齢者・障害者福祉基金「地方分」の助成を受けて、SPSDによる認知症を抱える家族の支援事業を実施しました。

1 SPSSD（認知症の人の模擬演

習者）を導出した家庭介護講座の開催（9か所）

2 SPSSDを養成するための研修会（10回）

3 認知症公開講座に使う導入DVDの作成

DATA

特定非営利活動法アビリティクラブ
たすけあい
〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町2-19-13
ASKビル7F
TEL. 03-5155-0835
FAX. 03-5155-0836
<http://www4.ocn.ne.jp/~tokyoact/>